

1993
3

日経
コンピュータ
グラフィックス
NIKKEI COMPUTER GRAPHICS

安価に高速グラフィックス環境を実現するDOS/V機
CAD, CGユーザーのための大容量記憶装置選び
標準化の動きが始まった電子カタログ

今月の表紙



© 土佐 尚子

eve

- コンピュータ: PC-9801RA21
- フレーム・バッファ: 501FB, SUPERFRAME
- ソフトウェア: オリジナル (MS C でプログラミング)
- 解像度: 1536×1024
- 制作時間: 構想段階から含めて1週間, うちコンピュータでの計算時間は約4時間

〈作者紹介〉

土佐 尚子 [とさ なおこ]

CG作家、武蔵野美術大学講師、総合電子専門学校講師。学研コンピュータ・グラフィック映像センター（GCGC）などでCGに出会い、86年から総合電子専門学校でCGの教育に携わっている。創作活動の一環として、92年にマルチメディア・ソフト制作の情報美学研究所（本社東京）を設立。同年、富士通研究所と共同で、人間の声の抑揚に反応してCGの赤ちゃんが表情を変化させるシステム「ニューロ・ペイピー」を発表した。

フラクタル図形（ジュリア集合）を素材にして、春のふんわりとした雰囲気を出した。左右の部分はジュリア集合の断片を3枚重ね合わせて作成した。中央部は1枚の断片に対して立体的に見えるような処理を施した。曼陀羅のような密度のある感じにするため、上下左右を対称にした。

ジュリア集合は複素平面上の場所によって、「さまざまな表情に変化して見える」（作者）。座標などの数値を上手に指定すれば、断片の表情や雰囲気を制御できる可能性もある。将来は「ニューロ・ペイピー」のように、人間が対話的に働きかけると、コンピュータが人間の感情を読みとつて反応するような作品に仕上げたいという。

CG